



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所
 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
 発行責任者 宮島喜文
 編集責任者 深澤憲治
 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
 ホームページ <https://www.jamt.or.jp>

- P1 令和5年 新年を迎えて
 P2 日臨技支部医学検査学会開催報告(4)【北日本支部】
 P3~P4 2022年度審査 日臨技品質保証施設認証制度実施要項
 P5 全国「検査と健康展」2022 各地からの報告 第1回

令和5年 新年を迎えて



会員の皆様に対し、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

令和元年から始まった新型コロナウイルス感染症は、これまでに世界では約6億4,580万人が感染し、約664万 명이死亡、我が国でも約2,543万人が感染し、約5万人が死亡する事態(令和4年12月6日現在)となり、社会・経済活動にも甚大な影響を及ぼすとともに、新型コロナウイルスは変異を繰り返し流行する度に医療逼迫が生じ、医療従事者の方々に多大なご負担をお掛けしております。社会における感染実態は刻々と変化しており、国も次々と新たな施策を講じていますが未だに収束の目途は立っていません。

このような状況下、会員の皆様におかれましては医療機関や検査機関の日常業務、都道府県をはじめとした自治体を実施する行政検査において、検体採取やPCR検査、抗原検査、ワクチン接種などに積極的に従事され、本会とともに国の感染症対策に積極的に取り組まれた姿勢は高く評価されております。改めて感謝と御礼を申し上げます。

そして、昨年末の臨時国会において、以前から本会が要望していた「臨床検査技師のワクチン接種」について、「違法性の阻却との法解釈」でなく、感染症法の改正(新型インフルエンザ等対策特別措置法)が実現し、職名が法文に明記されました。これも偏に都道府県技師会及び会員の皆様の努力のおかげで、臨床検査技師の社会的な評価が高まったものと言えます。

さて、我が国は少子高齢化、人口減少という人類が初めて経験する国難と直面しており、国も様々な対策を講じていますが有効な施策が見出せておりません。今年には第8次医療計画の策定、来年には診療報酬の改定が予定されており、更に最近では高齢者が減少しはじめる2040年を見据えた時代をどう乗り切るかの検討も始まろうとしています。

本会におきましては、昨年から実施している「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」、「臨地実習指導者講習会」、医療法の一部を改正する法律(2017年法律第57号)に基づく精度管理を調査の基本とした「日臨技品質保証施設認証制度」の3大重点事業を、コロナ禍でありながらも、会員の皆様の熱いご支援とご理解とご協力と取り組んでまいりました。心より感謝申し上げます。本年も継続して参りますが、これらは完成期を迎えております。

また、今年には本会創立70周年記念式典を挙るとともに、倫理綱領を改編制定します。更に、コロナ禍の組織運営及び第4次マスタープランを検証し、次のマスタープランの策定や2040年に向けた「未来人材育成プロジェクト(仮称)」に着手するなど新たな時代に向けた節目の歳となります。次のステージに向けて具体的に目指すものは、これからの時代に相応しい学術・生涯教育システム構築に向けての改革と政策が実現できる日臨技技師連盟の強化も含めた組織体制の改革、そして、行政と継続的な協議ができる都道府県技師会の育成を挙ることができま

本年も臨床検査技師の我が国唯一の学術・職能団体として厚生労働省を始め関係学会と迅速且つ緊密な連携を図り、会員皆様からの負託に応えるべく、昨年同様に役員共々、誠心誠意、各種事業の遂行に努めてまいりますので、会員の皆様の温かいご支援と一層のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

令和5年 元旦
 代表理事会長 宮島喜文

日臨技支部医学検査学会開催報告(4)

令和4年度 北日本支部医学検査学会

原点回帰 ～ 臨床検査技師だからできること ～

学会長 早坂 光司
実行委員長 佐々木 淳



写真左：特別講演1 高橋 聡 先生

写真右：特別講演2 辻 沙絵先生(左)と早坂学会長(右)

令和4年度日臨技北日本支部医学検査学会(第10回)を、一般社団法人北海道臨床衛生検査技師会が担当し、令和4年11月12日(土)・13日(日)の2日間、函館国際ホテル(函館市)にて開催いたしました。

北海道が担当となり函館を開催地と決めた際には、北海道新幹線も開通し、道外からも参加しやすいであろうこと、そして、ワクチン接種も進み新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いているだろうとの予測から、現地開催のみの想定で企画を進めてまいりました。開催が近づくにつれ、北海道の感染者数が全国に先駆けて増加傾向となり、流行の第8波が懸念されるようになった際には、本当にどうなることかと気をもむ日々が続きましたが、無事開催に漕ぎ着けることができ胸をなでおろしました。

本学会のテーマは、「原点回帰～臨床検査技師だからできること～」としました。新型コロナウイルス感染症の拡大により社会情勢に大きな変化が見られた中、ウイルスのPCR検査、抗原検査が注目を浴び、ワクチン接種を行うことが特例で認められるなど、臨床検査技師も各種メディアで取り上げられ、医療従事者の一員としての役割を、社会も我々自身も再認識しました。また、法改正により昨年10月から臨床検査技師の業務に10の行為が追加され、タスク・シフト/シェアの推進が求められています。この業務拡大は臨床検査技師として元々備えてきた知識、技術があってこそであると考え、今一度、原点に立ち返り、臨床検査技師だからできることを見直す良い機会となる学会を目指し準備を進めてまいりました。

参加人数は日臨技会員456名、賛助会員・学生等を含めると667名となりました。学会内容は、一般演題126題、特別講演2、教育講演8、シンポジウム2、パネルディスカッション、日臨技企画として「タス

ク・シフト/シェアに関する臨床検査技師の果たす役割について」「人口減少社会の到来と臨床検査技師」「学生フォーラム」を行いました。また、ランチョンセミナー6社、機器試薬展示25社、広告15社など多くの賛助会員の皆様からご協力をいただき誠に感謝申し上げます。

特別講演1は、札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座の高橋 聡先生に「コロナ禍は感染症に影響したのか?」と題して、特別講演2では、東京パラリンピック日本代表、そして、リオデジャネイロパラリンピック銅メダリストの日本体育大学の辻 沙絵先生に「挑む楽しさ～出来ないことはない～」と題してご講演いただきました。

教育講演では各分野の最新のトピックスをご講演いただき、シンポジウム・パネルディスカッションではタスク・シフト/シェアなど臨床検査技師を取り巻くテーマについて議論が交わされました。また、進学支援として市内の高校生数名の参加があり、学会の雰囲気を感じていただき、臨床検査技師を目指す一助になる良い機会になったと思います。

残念ながら情報交換会は中止となりましたが、学会場内では数年ぶりに対面で顔を合わせ、積もる話に花を咲かせている姿が多く見られ、一般演題の発表会場では、現地開催ならではの活発なディスカッションがなされており、参加された方々からも「対面での現地開催はやはり良いですね」とのお声かけを多くいただきました。

最後になりますが、開催にあたりご協力いただきました会員、賛助会員の皆様、また、学会を盛り上げていただきました講師、参加者の皆様にあらためまして御礼申し上げます。

2022年度審査 日臨技品質保証施設認証制度実施要項

「日臨技品質保証施設認証制度」の申請を2023年1月16日(月)から開始します。

「JAMTQC参加施設向けシステム」からの申請となります。

現在、2022年度審査用システム構築中のため、進捗状況により申請開始日が若干遅延する場合があります。その際は、当会ホームページの最新ニュース、及びJAMTQCトップページなどでお知らせいたしますので、ご注意ください。

当会では2010(平成22)年より「標準化され、かつ臨床検査の精度が十分保証されていると評価できる施設」に対して、公益社団法人日本臨床検査標準化協議会(JCCLS)と共同で、「日臨技精度保証施設」を認証してきました。2021年度、全国240施設が認証を取得され、国民の期待と信頼に応え、質の高い臨床検査を日々提供しているところです。

また、当会では平成30年12月1日より施行された医療法等の一部を改正する法律(平成29年法律第57号)の趣意に基づき、臨床検査の精度(価値)向上をさらに図る観点から、本制度を全面的に見直し、新制度へと移行する準備を進めて参りました。是正・サポートも含めた検査室の品質保証体制構築を、是非、当制度を利用して頂くようご検討ください。

I. 認証期間

2023年6月1日～2025年5月31日 2年間

※但し、2022年度審査は、システム構築中のため、申請期間を通常より長めに確保します。

承認が2023年6月1日を過ぎる場合には、認証開始を2023年6月1日に遡って認証します。

II. 日程

1. 適書の発行：2022年10月25日(火)
 2. 申請書類受付期間：【Step0及び1】2023年1月16日(月)～2023年2月7日(火)
【Step2】Step1申請完了～2023年3月17日(金)
※申請は、Step0、Step1、Step2と段階的におこなっていただきます。
 3. 審査期間：【Step1】2023年2月8日(水)～2023年3月17日(金)
【Step2】2023年3月18日(土)～2023年4月上旬
 4. JCCLS承認、執行理事会(理事会)審議・承認：2023年4月中旬～5月上旬(予定)
 5. 承認通知・認証料請求書公開：2023年4月中旬～5月上旬(予定)
 6. 認証書発送：2023年6月中旬(予定)
- ※3～6の日程は、審査状況により変更する場合があります。

III. 審査料

認証申請に伴う費用

審査料 33,000円(税込)

合否に関わらず徴収いたします。理由の如何にかかわらず返却しません。

IV. 登録料

認証申請に伴う費用

1. 認証される部門数×2,200円(税込)
2. 認証される分野数×550円(税込) ※生理部門(4分野)で2,200円(税込)
※部門数(9部門)、分野数(生理部門4分野)で上限22,000円(税込)となります。
例：臨床化学、免疫血清、血液、一般、微生物、生理(心電図、超音波)、遺伝子認証された場合の登録料は、6部門2分野=2,200(税込)×6+550(税込)×2=14,300円(税込)
3. 審査結果により、申請部門・分野と認証部門・分野が異なる場合があります。
例：臨床化学、免疫血清、血液、一般の4部門を申請した施設が、免疫血清部門のみ審査結果により否認となった場合、臨床化学、血液、一般の3部門を認証します。

V. 認証部門・分野・項目

当認証制度は、「施設」を認証するものであり、1施設1認証となります。

なお、認証書には「施設名」が記載され、「部署名」等は記載できません。

日臨技精度管理調査（10部門）が対象となります。最少1部門、1分野から認証が可能、最大9部門＋1部門（生理4分野）の認証となります。

参加施設において、自ら実施している検査項目であり、なお且つ、日臨技精度管理調査の項目であること。調査に2年連続参加し、優秀な成績を収めていること（A評価およびB評価）。また、C評価及びD評価であっても、参加施設における制度の確保に係る責任者の指導の下、是正改善が見受けられることが確認できる項目を認証いたします。

VI. 申請方法（申請締切り後は、受付できません）

1. 申請に当たって

本制度はJAMTQC参加施設向けシステムを介してのみ申請が可能です。

施設認証のWebサイトに入るためには、「施設番号」および「施設パスワード」が必要となります。

2. 申請方法

当会のホームページ<http://www.jamt.or.jp/>より、トップページの上段左から2番目のバナー「臨床検査精度管理調査」をクリックし、『JAMTQC参加施設向けシステム』から施設番号と施設パスワードを入力してログイン、『事務メニュー』⇒『施設認証』を選択して申請してください。

なお、画面右上に『入力ガイド』を掲載していますので、ご参照ください。

*申請確定後の申請内容の変更、キャンセル等は一切お受けできません。

3. 申請書類受付期間

2023年1月16日（月）～2023年3月17日（金）

※「Step0及び1」、「Step2」と申請受付期間が異なります。各申請期間にご注意ください。

4. 申請期間内に全ての申請要項が終了していないと審査対象となりません。

また、申請締切後の修正、追加、新規登録は一切お受けできません。

5. 申請は、Step0、Step1、Step2と段階的におこなっていただきます。Step1よりStep2に移る際に「審査料」が発生いたします。

6. 「適書」に記載されている「申請可能部門、申請可能分野・項目」を全て申請していただきます。施設で申請部門、分野・項目を選択できません。

7. 精度管理調査受検料が未納のご施設は、品質保証施設認証制度に申請できません。また、施設認証審査料ならびに登録料をお支払いされても認証されません。

VII. 審査料および認定料の支払いについて

審査料および登録料の支払方法：払込票（コンビニ及び郵便局払い）

認証承認後、JAMTQCより請求書の発行が可能となります。

また、払込票は、申請書の『請求先』にご入力された住所、担当者宛に郵送でお送りします。

申請終了後の修正等はできませんので、ご入力内容にお間違いがないことをご確認いただき、申請をお願いいたします。なお、審査料および登録料は一括でお支払いください。

VIII. 日臨技からのお願い

◇個人情報の取得に対する許諾のお願い

本施設認証制度では、申請手続き、事務連絡、および人材育成等の確認目的で個人情報を取得します。

ご提供いただいた個人情報につきましては、当該「品質保証施設認証制度」に基づく審査に対する目的にのみ利用します。利用目的以外の使用または、法令等に基づく要請の範囲を超えた利用はしません。

◇メールアドレスのご登録のお願い

審査に係る日臨技からのお知らせは、ご登録いただきましたメールアドレスにお送りします。必ず受信可能なメールアドレスのご登録をお願いします。また、期間中はメールの確認を定期的にお願ひします。

◇認証施設の施設名公表について

ホームページ、および当会発行誌等で認証番号、所属都道府県、施設名を公表します。

IX. お問い合わせ先

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

品質保証施設認証 担当 Mail : jamtqc2@jamt.or.jp

※お問い合わせはmailでお願いします。お電話でのお問合せは、ご回答できない場合がございます。

全国「検査と健康展」2022 各地からの報告 第1回

臨床検査のことで、それを担う私たち臨床検査技師のことを国民の皆様によく知っていただくために、日本臨床衛生検査技師会は、毎年11月に全国「検査と健康展」を全国で開催しています。本年度も新型コロナウイルス感染対策を徹底し、試行錯誤しながらも、中央会場の愛媛県をはじめとした多くの会場で実施することができました。各都道府県技師会からの報告と会場の様子を本号より順次ご紹介していきます。

兵庫県



新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりのWebでない開催となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、消毒、マスク着用を来場者に徹底していただき、今年度はヘモグロビン簡易測定、血管年齢簡易測定、骨密度測定、体組成測定を対面で実施することができました。

3年ぶりの実施ということで、「検査と健康展」のリピーターは、待ちに待っていたようで、健康チェックを受けた来場者の概算は、270名でした。場者の健康意識が高いこと、また人と接することのできる場所を求めていることを実感しました。

(兵庫県臨床検査技師会 澁谷 雪子)

群馬県



群馬県臨床検査技師会では、11月3日(木)けやきウォーク前橋で全国「検査と健康展」を開催しました。新型コロナウイルス感染症予防対策を行ったうえで、縮小し実施となりましたが、ポスター展示を中心に臨床検

査の各業務について紹介し、新型コロナウイルス抗原検査キットや超音波検査装置に触れてもらい、検査の擬似体験をしていただきました。また、臨床検査技師による新型コロナウイルスワクチン接種について、群馬県の活動の様子を展示し紹介することができました。県内の中学校、高校にお知らせしたので、大半の来場者は将来の職業として臨床検査技師に興味のある生徒と保護者でした。本来の目的である臨床検査技師の業務を紹介する良い機会を提供できたと思います。

(群馬県臨床検査技師会 野上 智治)

島根県



新型コロナウイルス感染が完全におさまった状態ではなかったため、密を避け、各コーナーで検査に時間がかからないことや、接触を減らすことに気を付け、2年ぶりにイベントを開催しました。

たまたま買い物に来て参加された方から「良いタイミングで受検する事ができてラッキーだった」とか「普段から食事や運動に気を付けているけど、こうやって数字で表示されると励みになって良かった」等の嬉しいお声を、笑顔と共にいただきました。調子が悪くて来院される方とは違い、元気に生活をしておられる方々の良い面を見つけ出し喜んでいただけるのも、このイベントの良さではないかと思えます。

普段あまり関わることのない他施設の技師との交流や情報交換もできて、参加した実務委員からも「楽しかった」「有意義な一日だった」との声があり、今後の積極的な活動参加に期待が持てました。

(島根県臨床検査技師会 藤原 圭子)

(編集後記) サッカーW杯カタール大会での日本代表チームの活躍は素晴らしかったですね。ドイツ・スペインという優勝経験国に勝ち切れたことは正に「ブラボー！」でした。一方、2022年の漢字「戦」を象徴するウクライナ・ロシア戦争による物価の高騰は私たちの業務にも様々な影響及ぼすなど、2022年は激動の年だったと思います。戦争の終息はまだ見えずコロナとのお付き合いも続きますが、2023年は皆様にとって「ブラボー！」な事が沢山ありますように。

(直田)